

ささえあい

第32号



▲ 福祉ふれあい祭りの様子 ▲

(「ふきのとう」のコロッケ出店)



九重町ボランティア協議会
事務局

九重町社会福祉協議会
九重町ボランティアセンター内

〒879-4803 九重町大字後野上17-1

TEL : 76-2500 / FAX : 76-3835

令和7年度 九重町ボランティア協議会の活動

九重町ボランティア協議会は、総会で承認をいただいた令和7年度事業計画及び予算に沿って活動を行います。ご協力よろしくお願い致します。

《 令和7年度 事業計画 》

月 日	活 動 内 容
4月11日	はづきの会総会
15日	キスゲの会総会
22日	ボランティア東総会
23日	かっこうの会総会
30日	監査会・第1回役員会
5月15日	ボランティア南総会
26日	献立検討委員会①
20日	ボランティア協議会総会・講演会
6月23日	玖珠町ボランティア連絡会総会・講演会
7月17日	ボランティア協議会広報紙発行
28日	献立検討委員会②
9月予定	第2回役員会
2日	日田玖珠ブロック研修会
29日	献立検討委員会③
10月予定	役員視察研修
10月～12月	福祉ボランティアパワーアップ講座
24日	大分県地域福祉推進大会
11月21日	献立検討委員会④
1月予定	大分県ボランティア・NPO推進大会
26日	献立検討委員会⑤
2月予定	第3回役員会
3月23日	献立検討委員会⑥

* その他各種事業への参加協力

《 令和7年度 予算 》

《収入の部》			(単位：円)
科	目	予 算	摘 要
1. 会 費	1. 会 費	17,800	グループ・個人
2. 助成金	1. 助成金	510,000	町社協・県ボラ連
3. 雑収入	1. 雑収入	254	預金利子 禍年度分個人会費
4. 繰越金	1. 繰越金	212,946	前年度より
合 計		741,000	
《支出の部》			(単位：円)
科	目	予 算	摘 要
1. 会議費	1. 会議費	12,000	総会時弁当代
2. 事業費		510,200	
	1. 会報紙発行	50,000	印刷代
	2. 総会・講演会	50,000	講師料・講師旅費・飲物代
	3. 献立検討委員会	16,200	献立作成料・講師旅費
	4. 研修会費	275,000	県大会参加費・研修会等
	5. 収集活動	10,000	古切手収集
	6. 旅費・日当	109,000	旅費・日当等
3. 事務費	1. 事務諸費	24,000	消耗品費・通信費
4. 助成金	1. グループ助成金	165,000	グループ助成金
5. 負担金	1. 負担金	20,000	県ボラ連負担金
6. 予備費	1. 予備費	9,800	
合 計		741,000	



河津真由さん(左)と
山川優斗さん(右)

今回は九重町社会福祉協議会の新任職員から「福祉の道に進んだきっかけ」と題して、中学校の頃から福祉に関心を持ったことや大学での体験や学び、気持ちの変化等を話され仕事への意気込みを感じました。



6月23日に総会が開催され53名の方が参加されました。司会の石田初代さん、議長の佐藤悦子さんの協力ですスムーズに進行できました。

九重町ボランティア協議会
総会・講演会

一緒に活動しませんか！

九重町ボランティア協議会では7つの団体と、個人の方が積極的にボランティア活動をしています。

給食サービス

ひとり暮らしや高齢者世帯等にお弁当を作って配達します。手づくりのお弁当を定期的に届けることで、現況確認や食生活の改善とともに地域とつながる安心感もお届けしています。

それぞれの班が月に1回程度の活動で無理なく続けられ、受け取る方も大変楽しみにしている活動です。

ボランティア東（東飯田）

第1・4土曜日、第3月曜日

はづきの会（野上）

第2・3・4水曜日

キスゲの会（飯田）

第2・4火曜日

ボランティア南（南山田）

第1・3・4木曜日

*活動はいずれも午前中

音訳ボランティア かっこうの会

目の不自由な方や小さい字が読みづらくなつた方へ、毎月広報ここのえをカセットテープに吹き込み希望者にお届けしています。

原稿（1〜2ページ）とカセットテープが届いたら自宅で吹き込み社会福祉協議会に持参した後、職員が編集し希望する方にお届けします。

手話サークル ふきのとう

地域で生活する聴覚障がい者と一緒に、さまざまな交流活動を行っています。

この他にも様々な活動があります。自分の特性を生かしたい方、仲間づくりや余暇を利用して何か始めたいと思っている方、ボランティアについて詳しく知りたいという方はボランティアアセンターまでご連絡ください。



安心の中で活動を！

ボランティア協議会に登録されている方は全員ボランティア活動保険に加入しています。（掛け金は全額社協が負担しています。）

《ボランティア活動保険加入プラン》

基本プラン	1人	350円
天災地震補償プラン	1人	500円
特定感染症重点プラン	1人	550円



活動中に事故等があった場合は、すぐ社会福祉協議会ボランティアアセンターにご連絡ください。補償期間は、加入手続きを完了した日の翌日から年度末の3月31日です。保険の更新に伴い、毎年年度末に会員名簿の見直しと活動継続の確認をしています。

九重町ボランティアセンター

☎76-2500

（九重町社会福祉協議会内）

役員紹介

- ▼会長 増田 啓次（ふきのとう）
- ▼副会長 長野 久美子（ボランティア東）
- ▼理事 石田 初代（ボランティア東）
- ▼理事 足立 紀美代（はづきの会）
- ▼理事 武石 洋子（はづきの会）
- ▼理事 大津留 弓子（キスゲの会）
- ▼理事 有吉 君代（キスゲの会）
- ▼理事 工藤 徳子（ボランティア南）
- ▼理事 工藤 涼子（ボランティア南）
- ▼代表 吉武 千鳥（かっこうの会）
- ▼理事 若杉 廣子（風船バレー）
- ▼監事 進 一富（ボランティア東）
- ▼監事 堀 綾子（ふきのとう）

よろしくお願いします！

ボランティアグループ紹介 V o l . 2 3

会長… 工藤徳子 (会員数26名)

ボランティア南は、現在会員数26名で2班にわかれ、毎月1、3、4週の木曜日に活動しています。

ボランティア前日には、会員各々が受給者の方へ電話をかけ、安否確認と弁当の確認をしています。

配達時には、「いつもおいしいお弁当をありがとうございます」「楽しみに待ってます」「元気にしてましたか?」「早目に食べてね」など、受給者の方と会員の見守りを兼ねた楽しい会話と交流ができ、毎回受給者の方より元気をもらっています。

昨年には大分県知事表彰をいただき、これまでの活動に対する結果だと深く受け止め、今後もこの表彰を励みにボランティア活動に頑張っていこうと思います。

全員の高齢化や、運転など多くの課題もありますが、新会員増に向けた取り組みに力を入れていきたいと思います。ボランティア活動に活動に関心のある方、配達なら手伝えるという方の連絡待っています。



会長… 吉武千鳥 (会員数11名)

かっこうの会

視覚障害のある人に「声の広報 ここのえ」を届けているボランティアグループ「かっこうの会」は現在11名で活動しています。発足して25年、今年2月の町制施行70周年記念式典で、町民福祉の向上に貢献したということで特別表彰を受けました。これも長きにわたり、地道に活動が続けてきた先輩方のおかげと思っています。

わたしが加入したきっかけは、「自宅でもできるボランティア」ということでした。加入時はまだ仕事に就いていたので、それならやってみようか…と。

ところが、始めてみると何度となく壁にぶつかります。漢和辞典をめくり、スマホで検索しながら、読み方の確認。特に人名等については、注意(広報担当課に確認等)をしています。

令和5~6年にかけて、会員の退会があり(会員6名)、存続できるかと悩みながらもなんとか毎月

の「音訳ボランティア」は続けてきました。昨年、5人の新しい会員も入り、今は和気あいあいとした雰囲気のなかで、それぞれが自己研鑽しながら「声の広報 ここのえ」の発信を続けていきます。

今後も、すこしでも地域に貢献しながら、あゆみを進めたいと思っています。



編集後記



三十年にわたり継続してボランティア協議会・広報紙が発行されており、今まで携わってこられた方々への敬意とその労力へのねぎらいの言葉を申し上げます。

先日、九重町ボランティア協議会総会が開催されました。昨年度の活動報告、今年度の活動予定、予算案が無事承認されました。

過疎、高齢化が進む中で地域のコミュニケーションの希薄化が懸念されますが、ボランティアの皆様の日頃の活動によって安心・安全な地域が作られているかと思えます。総会に参加された方々の生き生きとした様子が心強かったです。

また、総会後の講演会では、今年度社協に入職された二名のお話も聞くことができました。若いお二人それぞれの福祉、地域づくりへの意気込みをお聞きするなかで、これからの地域でのコミュニケーションの維持発展ができるのではないかと強く感じました。(K・M)